

県産米の魅力伝える

県優秀校 蘇原第二小で食育授業

J
A
全
農
岐
阜

昨年の県優秀校に選ばれた蘇原第二小学校(各務原

市蘇原沢上町)で10日、J
A全農岐阜による食育授業



おにぎりを握る児童たち。各務原市蘇原沢上町、蘇原第二小学校
が行われた。5年生が2銘柄の県産米でおにぎりを握り、食べ比べた。

県優秀校は岐阜新聞社と岐阜放送が毎年、優れた教育活動を実践し、成果を上げている県内の小中学校をたたえている。表彰に特別協賛するJA全農岐阜が、選ばれた小学校で特別講義している。

同校では5年生約70人が二つに分かれて授業を受けた。岐阜市を拠点とする食育活動団体「燦餐の会」のメンバーが「ご飯の利点は」と問いかけると、児童はグループで議論し「栄養満点」「いろいろなおかずにあう」「食べると目が覚める」などと発表した。JA全農岐阜の担当者は苗作りから収穫までの米作りの流れを説明し、代かきや除草などの作業の必要性を解説。米にまつわるクイズも出題し、解答が発表されるたびに歓声が上がった。

続いて、炊かれたハツシモとコシヒカリが配られ、児童はおにぎりを作り、食べてそれぞれのおいしさを感じていた。(松田尚康)